

令和4年度の重点課題

○「運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌い」と答える女子児童の割合が 17.39%である。(前年度10.25%↑)運動に苦手意識をもつ女子が一定数以上いた。

○「運動や体育の授業をすることがあまり楽しくない、楽しくない」と答える児童の割合が 11.4%である。(前年比1.3%↑)

○「運動や体育の授業をすることが楽しい」と答える児童の割合が64.2%である。(前年比6.1%↓)

○男子では、「上体起こし」は県平均値かつ全国平均値より低い。

○女子では、「反復横跳び」「20mシャトルラン」「立幅跳び」「ボール投げ」は、県平均かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○授業の導入で意欲を高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動が苦手な児童も運動に親しむことができるようにする。(コーディネーショントレーニング、基礎的な運動)

○体育の準備運動において上体起こし、反復横跳び、登り棒、走ることを利用した運動を長期的かつ計画的に行う。(みながトレーニング)

○児童が自発的に企画・運営し、目標を持って外遊びをし、体力の向上を図ろうとする機会と場を設定する。(児童会の体育委員会による運動の記録・夏冬のみながンピックの表彰等)

○教職員間で「休み時間の過ごし方」の共通理解や月1回のクラス遊びなど、外遊びを推奨し、体を動かす機会を保障する。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
第5学年	19.10	20.38	34.31	46.86	47.45	9.31	166.00	26.28	第5学年	16.12	17.53	38.41	37.24	35.53	10.34	137.41	12.71

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
第5学年	19.10	20.38	34.31	46.86	47.45	9.31	166.00	26.28	第5学年	16.12	17.53	38.41	37.24	35.53	10.34	137.41	12.71

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	83.3	16.7	0.0	0.0

  

女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	41.18	47.06	5.88	5.88

県平均値かつ?

学校独自の意識調査(令和3年度～令和5年度)

学年	「運動や体育の授業は楽しいですか」(令和3年度)				合計	「運動や体育の授業は楽しいですか」(令和4年度)				合計	「運動や体育の授業は楽しいですか」(令和5年度)				合計
	楽しい	やや楽しい	まあまあ	楽しくない		楽しい	やや楽しい	まあまあ	楽しくない		楽しい	やや楽しい	まあまあ	楽しくない	
1年	67.3	19.2	11.5	1.9	100.0	89.8%	6.1%	2.0%	2.0%	100.0%	93.2%	2.3%	2.3%	2.3%	100.0%
2年	75.5	10.2	8.2	6.1	100.0	76.9%	21.2%	0.0%	1.9%	100.0%	87.2%	6.4%	2.1%	4.3%	100.0%
3年	77.8	17.8	4.4	0.0	100.0	77.3%	13.6%	6.8%	2.3%	100.0%	73.5%	20.4%	6.1%	0.0%	100.0%
4年	57.8	31.1	6.7	4.4	100.0	80.9%	12.8%	6.4%	0.0%	100.0%	81.0%	14.3%	4.8%	0.0%	100.0%
5年	66.7	27.8	3.7	1.9	100.0	66.7%	28.2%	5.1%	0.0%	100.0%	68.9%	20.0%	8.9%	2.2%	100.0%
6年	76.7	11.6	11.6	0.0	100.0	64.2%	24.5%	5.7%	5.7%	100.0%	64.1%	33.3%	2.6%	0.0%	100.0%
全校合計	70.3	19.6	7.7	2.4	100.0	76.1%	17.6%	4.2%	2.1%	100.0%	78.2%	15.6%	4.6%	1.6%	100.0%

重点課題

<情意面>

- 女子
  - ・「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える児童の割合が11.76%である。(県平均0.24%↑)2年連続で10パーセント以上で依然低い値である。
- 全体
  - ・学校独自の意識調査から、「運動や体育の授業をすることがあまり楽しくない、楽しくない」と答える児童の割合は、学校全体の6%である。(前年比0.3%↓)3年連続減少した。
  - ・「運動や体育の授業をすることが楽しい」と答える児童の割合が78.2%である。(前年比2.1%↑)3年連続上昇した。

<体力面>

- 男子
  - ・県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較において「長座体前屈」「20mシャトルラン」は県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子
  - ・県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較において8種目中7種目は県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体
  - ・「20mシャトルラン」は男女ともに県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)を下回っている。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 体育の準備運動において上体起こし、反復横跳び、登り棒、走ることを利用した運動を全学年で継続的かつ長期的に行う。(みながトレーニング)
- 体づくり運動を中心に、体力づくりを授業に組み込むとともに、休み時間にも取り組むように児童会活動において定期的な報告を実施する。(新みながンピック、なわとび運動)
- 授業の導入で意欲を高める運動を行うことで運動の楽しさを味わわせ、運動が苦手な児童も運動に親しむことができるようにする。(児童交流の運動、単元の基礎的な運動)

体育の授業以外で行う取組内容

- 体づくり運動を中心に、体力づくりを授業に組み込むとともに、休み時間にも取り組むように児童会活動において定期的な報告を実施する。(新みながンピック、なわとび運動)
- 児童が自発的に企画・運営し、目標をもって外遊びをし、体力や意欲の向上を図ろうとする機会と場を継続する。(休憩時間の外遊びの企画・児童会による運動の記録・夏冬のみながンピックの表彰等)
- 生活を改善するための保護者への情報発信を積極的に行う。(学校通信、学年通信、保健だより、みながンピック、個人懇談、学級懇談)
- 教職員間で「休み時間の過ごし方」の共通理解や月1回のクラス遊びなど、外遊びを推奨し、体を

令和6年度の重点目標値

- 男子の「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える児童の割合を0%継続する。
- 女子の「運動やスポーツをすることがややきらい、きらい」と答える児童の割合を10%以下にする。
- 「20mシャトルラン」において、男女とも県平均値かつ全国平均値以上にする。